



令和8年5月27日発行

学校だより

第4号

江戸川区立松江第三中学校

〈 教育 目 標 〉

- 1 素直で明るい、心豊かな生徒を育てる
- 2 自ら進んで、よく学びよく働く生徒を育てる
- 3 責任を重んじ、正義と規律を尊ぶ生徒を育てる

夢追う挑戦者

校長 小澤 託

皆さんに、紹介したい人がいます。

その人は女性です。ほぼ私と同じくらいの年齢です。

いじめを受けて、中学3年間は学校に行っていませんでした。

ラジオを聞くのが好きで、世界の短波放送を聞いて、海外生活に憧れていました。

親戚に“手に職を”と忠告され、あるIT企業に就職しました。

2001年9月11日、アメリカの同時多発テロの映像をテレビで見て、「人生、やりたいことはやっておかない」と思い、海外生活をする夢を実現するために30歳でカナダに渡りました。カナダでは、飛行機の操縦訓練の教官になれば、ビザを取れる環境であったことから、一から学んで操縦免許を取りました。

最初は、人口1万人くらいの街でエアタクシー業。

マイナス60℃の中、電気業者を運んだりして経験を重ねました。3度転職し、地方路線の航空会社で機長に昇格。

2016年からエア・カナダに入社し、ボーイング787型機の副操縦士を務めています。

5500人いるエア・カナダのパイロットで唯一の日本人女性。

晴れた夜に離陸する時のトロントの街の光がお気に入り、「制服を着れば男も女も関係ない」と言い、性別にとらわれず空の世界に憧れる子を一人でも増やしたいと、今日も操縦桿を握っています。おそらく、今日も大好きな空を飛んでいるのでしょう。

残念ながら、私の知り合いではありません。

当然、お会いしたこともありません…。

でも、まるで自分の友達のごとく紹介したくなりました…。同じ年代だから、というだけではありません。

小さな頃の憧れを、様々な経験や困難を乗り越え実現し、そして、今も夢と誇りをもって生きている。そんな生き方が素敵で、少なからず将来を考える中学生の皆さんに紹介したい! と思ったからだと思います。

もしかしたら、生徒の皆さんの中には、理想の自分や将来の夢や希望はあっても、心が何となくざわわわして、自分の足元も不安定で、暗闇のなか手を伸ばしながらフラフラしているような感覚の人もいるかもしれません。

でも、もがき苦しみながらも、その中で心は強くなっていくし、どんどん磨かれていきます。

自らの可能性を信じ 諦めずに夢を追う若者であってほしい。

そんな三中生になってほしい!!

【無事に体育祭が終われたことに感謝！！】

約2週間の取り組みを経て、無事に5月23日（土）第74回目となる体育祭を実施することができました。多くの保護者・地域の皆さんにご来場いただき、温かな声援を送っていただきました。心より御礼申しあげます。

12日の朝礼時、体育祭に向けて、生徒に3つのことを意識するように話をしました。

自分と向き合うこと・仲間と向き合うこと・互いを尊重すること

の3つです。この体育祭に向けて、真剣に取り組むからこそぶつかる壁（自分自身と、学級の仲間と、そして、最後は一緒に競い合った仲間と）に向き合い、乗り越えようとする中で成長する、という内容です。保護者や地域の皆様には、生徒たちの姿はどのように映ったのでしょうか。

大きな行事をとおして、生徒は大きく成長するものです。私自身は、3年生の生徒たちの成長が本当にうれしかったです！！練習に取り組む姿、互いに励まし助け合う態度、そして、リーダーとして学校を引っ張ろうとする心意気。強く感じました。もちろん2年生・1年生の頑張りも成長も認めておりますが、今回の体育祭での3年生の活躍に大きな期待と可能性を感じました。

体育祭が終わってまだ数日ですが、2週間後には考査があります。今回膨らんだ大きな期待と可能性を考査でも大いに広げることができるよう学校全体で進めていきたいと思っております！！

保護者の皆さん、ぜひ今後ともご支援ご協力をお願いいたします。

～ コーヒーから考える… ～

コーヒー好きな人は日本にも多い。私も日に何杯も飲んでいる…

どのコンビニでもボタン一つで挽き立てのコーヒーが飲めるし、たまにはカフェで…と季節に合わせたスペシャルや様々なアレンジを加えたコーヒーを楽しんでいる方もたくさんいらっしゃると思います。

ちなみに、“銀ブラ”と言えば、銀座でブラブラお散歩したり、ショッピングを楽しんだりすること、と思っている方が大半だと思いますが、日本でコーヒーが飲まれ始めた明治時代は、銀ブラと言えば、銀座でブラジルコーヒーを…、という意味だったそうです。

さらに付け加えると、駅や大型ショッピングセンターなどに展開している“カルディ”というお店は、エチオピアでコーヒーを発見した子どもの名前をつけたお店なんだそうです。確かにコーヒーの豆を販売していますよね。ここで、おやっと思う人は切れ者です。実は、コーヒーの原産国はエチオピアだったんです。

今では、赤道を中心とした「コーヒーベルト」と呼ばれる地域に生産国が集中していますが、地域によって風味が違っており、その違いを楽しみながらコーヒーを飲んでいる方が多いでしょう。

さてさて、このコーヒーの主な生産国は、ほとんどが途上国。その上、生産はするけど自国では消費せず（輸出する）、消費をしている上位地域は、EU やアメリカ、日本などの先進国（安く輸入）。おいしいおいしいとコーヒーを何杯も飲んではいけるけれど、生産している人たちはどんな生活をしているのだろう、とか。理想的なフェアトレードとはどういう形なのだろう、と考えることも必要なのかもしれません…